

(トップページ：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(サウジアラビア：<http://members3.icom.home.ne.jp/3632asdm/SaudiArabia.html>)

マイライブラリー：0204

2011.11.4

前田 高行

(ニュース解説)サウジアラビア皇太子にナイフ内相



サウジアラビアのスルタン皇太子が10月22日に死去し、27日に実弟のナイフ内相が新しい皇太子に即位した。新皇太子はアブダッラー国王が推薦し「忠誠委員会」が全会一致で承認したものである。「忠誠委員会」とはアブドルアジズ初代国王の息子、孫或いは曾孫35人で構成され、国王或いは皇太子が死去した場合の新しい皇太子選任のため、2006年に設けられたサウド家一族の合議体である。

ナイフ新皇太子は1933年生まれ(78歳)で、初代国王の22番目の息子である¹。母親が同じ7人兄弟の3番目であり長兄は故ファハド前国王、次兄がスルタン前皇太子。弟にはサルマン・リヤド州知事、アハマド内務省副大臣など政府の中枢を占める者が多い。彼らは母親ハッサ・スデイリ妃の名に因んで「スデイリ・セブン」と呼ばれ、サウド王家のなかで今も大きな勢力を誇っている²。

ナイフは1954年に21歳の若さでリヤド州知事に就任、1975年に内務大臣になった後、現在まで40年近くその地位を保っている(因みにリヤド州知事の後任は実弟のサルマン現知事)。そして2009年には第二副首相となった。サウジアラビアの統治基本法では国王が首相であり、皇太子は慣例として副首相を兼務することになっている。従って第二副首相のポストは次期皇太子(即ち次々期国王)への最短ポストであり、事実アブダッラー国王も故スルタン皇太子も第二副首相を経てそれぞれの地位に就いている。ナイフは内相を続けることが決まっており、彼の新しい肩書は皇太子兼副首相兼内相ということになる。

サウジアラビアでは初代国王以降第二代サウド国王から現在の第六代アブダッラー国王まで全て初代国王の息子達(いわゆる第二世代)が王位を継承してきた。その結果国王或いは皇太子の即位時の年齢は徐々に高齢化し、例えば歴代皇太子の即位時の年齢は、故ファハド国王52歳、アブダッラー現国王58歳、故スルタン前皇太子74歳であり、今回のナイフは78歳という具合である。

専制君主制国家のサウジアラビアは体制維持のために国内で厳しい思想統制を行っているが、その中心となっているのが内務省である。サウジ国内では9.11同時多発テロ事件以後、イスラム過激派のアル・カイダが暗躍、2003年にはリヤドで3件の連続爆破事件が発生、翌2004年には

内務省が自爆攻撃の標的になる事件が発生した。また東部の油田地帯に多く住むシーア派住民によるデモ騒擾事件も後を絶たない。これらの治安問題に対してナイフは徹底的なテロリスト掃討或いはシーア派弾圧作戦を展開し、イスラム・テロ組織「アラビア半島のアル・カイダ」を隣国イエメンに押し込んだ。その結果 2006 年以降は国内では目立ったテロ活動は影をひそめている。しかしその反面、彼或いは彼の息子がテロリストの攻撃目標とされ、2009 年 8 月にはナイフの息子ムハンマド（内相補）³がラマダンの訪問客を装った自爆犯に襲われ危うく難を逃れるという事件も発生している⁴。

頑迷な保守主義者と言われるナイフは国内の民主化運動或いは女性が服装や運転の自由を求める活動に対しても厳しく対処している。また最近ではイランによる駐米サウジ大使暗殺未遂疑惑問題に対して、イランとは一切妥協しない、と言う趣旨の強硬発言を行っている⁵。ナイフ内相は強面(こわもて)である。

前評判通りナイフが皇太子になったが、実はまだ解決すべき問題が二つ残っている。一つはスルタン前皇太子が兼務していた国防相のポストを誰が引き継ぐかと言う問題であり、もう一つは第二副首相を任命するかどうかという問題である。国防相ポストについては一部マスメディアでサルマン・リヤド州知事の名前が取りざたされているが、今のところサウジ政府からの公式発表は無い。国防省には副大臣としてスルタンの息子ハーリド王子(第三世代)がいる。また国王、皇太子とも高齢のため、補佐役として第二副首相ポストを設けることが考えられるが、誰を選任するかはサウド王家内の微妙な問題である。第二副首相はこれまでの例を見ても次期皇太子への最短距離である。さらに国防相或いは第二副首相ポストに国王、皇太子と同じ第二世代が任命されるか、それとも彼らの息子達の第三世代にバトンタッチされるのかも今後の王位継承を占う大きな鍵である。これら二つの問題は新国防相が正式に任命された時に稿を改めて論じたい。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

¹ 「サウド家王族の閣僚・政府要人」参照。

<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/3-1-1MinisterAndProminentPrince.pdf>

² 「アブドルアジズ初代国王の王妃と子息たち」参照

<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/3-1-3bSonsOfAbdulazizByWife.pdf>

³ ナイフ皇太子家々系図参照。

<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/3-1-6NaifFamily.pdf>

⁴ Arab News on 2009/8/28, 'Prince Muhammad escapes assassination attempt'

⁵ Arab News on 2011/11/2, 'Crown Prince: No compromise with Iran'